安全管

根室管内

農道整備の
害防止対策

【釧路発】根室管内建設業協会（寺井範男会長）は9日、2024年度安全パトロールを実施した。12人が参加し、根室振興局発注の工事現場2ヵ所を視察。冬型事故の防止対策等を重点に安全管理体制を確認した。

対象現場は別海町の「農道整備（高度化型）平和地区1工区」（渡辺・伊藤JV施工）と、標津町の「海岸保全茶志骨第2地区61工区」（真壁・中村JV施工）。参加者は現場担当者から作業内容や安全対策等を聴取し、施工状況を点検した。

最初に点検した農道整備工事の現場では、カルバー

渡部仁志安全推進委員長は「日没が早く、積雪で路面状況は悪くなってくる。通勤災害や現場内での冬型事故に注意を」と要請した。

引き続き海岸保全工事の現場へ移動。渡部安全推進委員長はパトロール後、厳寒期における事故防止対策の徹底とともに「工事車両、重機等の車両事故に十分注意を」と、ゼロ災害での完工を呼びかけた。

無災害完工へ意

山内組　客土工事安全

【帯広発】㈱山内組（更別、山内信男社長）は6日、同社本社内で客土工事安全講習会を開催した＝写真＝。警察署職員による講話や現場での安全対策等の説明を実施。無事故・無災害での完工に向けて安全意識の高揚を図った。

同社が施工する十勝総合振興局発注「畑地帯更別第3二期外2地区71工区」を

道路管理者に対して、交差点での左右の安全確認や路面状況の見極めなどに取り組むことを求めた上で「大型自動車の事故は重大事故につながる可能性が高い。ささいなミスや見落としが事故につながることを肝に銘じて運転してほしい」と呼びかけた。

引き続き、帯広警察署更別駐在所の木下祐樹所長が交通安全について講話。ことしの死亡事故状況を踏まえ、

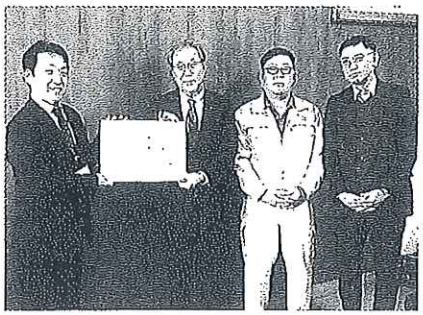
また、冬季を迎えるに当たり、早めのブレーキを呼びかけるとともに、通行車両のスリップに備え現場の交通誘導員に退避場所を確認させるよう呼びかけた。

このあと「畑地帯更別第3二期外2地区71工区」の林成司現場代理人が現場について説明。林現場代理人は今後の主な工事内容や安全対策、客土運搬時の注意事項などを説明した。

各企業等の社会貢献活動

札幌厚別通小から感謝状

勇建設　玄関前舗装修繕等で



勇建設㈱（札幌、坂昭弘社長）は11日、札幌市立厚別通小学校から感謝状を受け取った＝写真＝。地域貢献活動の一環として、同校の玄関前舗装修繕および体育館横駐車場への砂利敷きを行ったことに対するもの。田川則紀校長から河原正幸専務取締役へ感謝状が手渡された。

同社は、札幌市下水道河川局発注「準用河川厚別西川改修工事」を施工している。地域への恩返しとして同校に地域貢献活動を打診し、11月30日に玄関前および体育館横駐車場の路盤砕石補充、転圧による不陸整正を行った。

校長室で執り行われた感謝状贈呈式には、河原専務取締役、助野聡明技術管理室長、崎山壮龍現場代理人、高根健介総務部長の4人が出席した。

田川校長は「剥がれていた個所が美麗になり、より美しい環境で学習活動を行うことができるようになった」と、同社の献身的な対応に謝意を示した。

河原専務取締役は「地域

浦幌町から感謝状

斉藤井出建設　街路樹剪定で

【帯広発】斉藤井出建設㈱（足寄、斉藤和之社長）は9日、浦幌町から感謝状を受け取った。地域貢献活動の一環として実施した街路樹の剪定に対するもの。井上亨町長が荻野直俊現場代理人に感謝状を贈呈した。荻野現場代理人は「活の方々の役に立つことができてうれしい。特に将来を担う子の学びやの環境が少しでも改善されればと願っている」と話した。

動個所は）地域住民の方々が常に使用する生活道路。景観を整備することで気持ち良く通ってもらえるとうれしい」と話した。

同社は帯広建管発注「本別浦幌線常室橋補修工事（補正・明許）外」を施工。お世話になっている地域の

貢献に伴う感謝状

（左から）斉藤社長、荻野現場代理人、井上町長

ためにと、地域貢献活動を計画した。

活動は、10月30日から3日間かけて実施。歩道に伸びた街路樹を人力で丁寧に剪定した。切り落とした枝は2トントラックで搬出し、処理した。

同社の取組に対して町は感謝状を贈ることにした。

この日、斉藤社長と荻野現場代理人が役場を訪問。井上町長から感謝状を受け取った。

井上町長は同社の取組に対して謝意を示した。

荻野現場代理人は「（活動個所は）地域住民の方々が常に使用する生活道路。景観を整備することで気持ちよく通ってもらえるとうれしい」と話した。